

鼓童



太鼓で伝える熱い思い

- トピックス 鼓童佐渡特別公演 2013
- トピックス 祭音 -MATSURINE-
- アース・セレブレーション2013 上妻宏光
インタビュー 共に伝えたい日本の音とリズム

左上:島根県益田市にて交流学校公演(写真:松田菜瑠美)

左下:[祭音 -MATSURINE-](写真:松浦充長)

右:[鼓童佐渡特別公演 -春-]齊藤栄一の大太鼓
(写真:洲崎純子)

鼓童通信

2013年4月～5月

SADO PERFORMANCES 鼓童佐渡特別公演・春

四／二六～五／六 佐渡・宿根木公会堂
昨年から始まった佐渡特別公演。小島千絵子を座長に、鼓童創設メンバー・準メンバー・研修生の新旧入り乱れての約一時間。開演の二〇分前からは、お客様と一緒に「ちんがら」（割竹を使った佐渡の子どもの遊び）で盛り上がったたり、鼓童グッズのお勧めポイントのご紹介？ など毎回メンバー交代での前座もあり、アットホームで楽しい公演でした。会場公会堂のある宿根木は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている、趣のあるとても素敵な集落です。江戸時代にタイムスリップした様な錯覚を味わえる町並み散策と、何が起るか予想のつかない前座など、次回ご来場の際には少し早めのお越しをお勧め致します。

五／四 関連企画 お気軽太鼓教室

佐渡特別公演期間中にはベテランメンバー四人による、それぞれの個性を活かしたワークショップ（WS）も行われました。太鼓や笛は聴くだけでも楽しいですが、やはり何と云っても実際に演奏した方が数倍楽しいですもん。初めての方でもすぐに叩ける栄一のWSにご参加頂いたのは七名。でも大人数の方が楽しいからと、急遽準メンバーと研修生を召集。太鼓を使ったゲームなどをしながら、総勢十六人で夜の九時まで大騒ぎ！ 二時間集中してのWSは少々疲れたと思いますが、受講後の参加者の皆さんの晴れや

かな笑顔がとても素敵でした。太鼓を続けて来て良かったと思う瞬間でもありません。（報告：齊藤栄一）

ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー

五／八 茨城・取手市民会館
春ツアーの初日。一年を通してやってきた舞台で慣れているものの、久しぶりの国内公演。大太鼓奏者の順番も変わるなど、少しずつ変化していることもあって、みんなの気持ちも高揚気味。その緊張感がよかったのか、観客から『日本一！』のかけ声もあがり、とても気持ちのいいスタートになりました。アメリカでも反響は大きかっただけに、その自信を胸に、浅草公演まで突っ走ります！

五／十八 京都・京都芸術劇場 春秋座

京都造形芸術大学の構内にある劇場。歌舞伎や寄席も演じられるため、提灯飾りなどもあり、とても雰囲気の良い劇場です。

鼓童には、こちらの大学の和太鼓サークル出身のメンバーが三名、スタッフも一名いて、ご縁のあるところです。おかげさまで、満員のお客様に迎えられ大盛況。「月待ち」では、吉井盛悟がソロの途中で唄を挟むなど、特別バージョンで臨み、みんなのテンションもそれと共に加速していきました。客席との距離も近く、舞台と客席が一緒になって熱くなった一日でした。（報告：阿部研三）

SCHOOL TOUR 交流学校公演

五／十二 島根・悠邑ふるさと会館
「鼓童交流公演 in 川本町」

川本町では長年お世話になっている地元の太鼓グループ、江川太鼓さんと共演させて頂きました。川本町には江の川という大きな川があり、その向こうに新緑の山々が広がるとても奇麗な風景があります。そんなのどかな町での暮らしや人情に根付いた江川太鼓さんの太鼓の音はとても魅力的でした。アンコール「彩」の共演では演奏者の気持ちや音、そして地元のお客様の温かい思い、色々なものがしつかりと繋がっていることが実感出来るような、とても思い出深い公演になりました。

五／十四、十五 島根・益田市内小中学校

島根県での学校公演。子ども達はとても素直で、WSでは最初は恥ずかしがりながらも、中学生が目をキラキラさせながら一生懸命叩いてくれる姿がとても印象的でした。山間の道をずっと走った先にある田舎の学校、テレビやインターネットはあっても、本物に触れる機会はなかなかないんじゃないかなと思います。そんな子ども達の学校の体育館で生の太鼓の音や迫力を届けられることをとても有意義に感じます。終演後には子ども達が車を追いかけてきてくれて、危ないぞーと思いつつも嬉しいひと時でした。（報告：坂本雅幸）

五／二一 昼休みの鼓童村中庭。庭元・藤本吉利の「踊っておかんとな」の一声で鬼剣舞の稽古タイム。準メンバー、スタッフともども気持ちよい汗を流しました。
 (写真・松田菜瑠美)



SOLO ACTIVITY
ソロ・小編成活動

四／三〇 新潟・佐渡汽船創立一〇〇周年記念祝賀会

鼓童の旅には欠かせない交通手段「佐渡汽船」。今年で創立一〇〇周年を迎えられ、祝賀会のフィナーレ演奏にお招き頂きました。出演は見留知弘、そして元鼓童メンバーの狩野泰一さん。この二名が共演するのは、実に十六年ぶり。

賑やかな会場を浄化するような知弘の木遣りの声に、狩野さんの笛。大太鼓と共に高みを目指す笛の音は、かつて同じ時間を共有した二人の背景を想像させる息の合ったものでした。打ち切つて礼をすると、客席からは盛大な拍手と笑顔。元メンバーとの共演という、鼓童にとつても、特別なステージでした。
 (報告・松田菜瑠美)

小島千絵子

「ゆきあひ」舞台く水・火・風・空・土く

五／十八 新潟・坂口記念館

いつもは静かな佇まいの旧家屋敷にこ



作・宮崎正美

の三日間、「五の会」の五人の表現者が引き寄せたご縁の人々が行き会い行き交つて、いつかのよう華やかな賑わいに包まれました。集った女性達の、重力から解放されたような自由さ、計り知れない根つこの深さ、火傷しないけど延焼しそうな情熱、一直線の運針作業、に触れられて、夕暮れ時から私の出番！古代に呼び戻されるような土笛の音に導かれて、鳴るがままなすがままあるがままに舞う。笑い声に梁の塵も舞つて、一番喜んでいたのはこの古民家だったかも知れません。
 (報告・小島千絵子)

ゲスト出演「祭音-MATSURINE-」

五／二〇 大阪・堺市立美原文化会館

三宅島芸能同志会の公演に特別編成でゲスト出演させていただきました。ひたすら打ち込む熱い舞台となりました。

※五ページのトピックスをご覧ください。

MEMBER NEWS
メンバー短信

この春より、佐渡太鼓体験交流館に新しいスタッフが二名増えました。

真崎 滉大は、スタッフ志望としてこの一月に研修所を修了しました。伊藤みらいは愛知県出身で、佐渡好きが高じて昨年移住。佐渡ふるさと大使にもなっています。どうぞよろしくお願いたします。

鼓童村の四季

山々に春の恵みや柿野浦 幸生

研修所恒例の山菜講座を四月二十五日に実施しました。「佐渡特別公演」があるため今年も二年生は出られず、一年生十二名とスタッフ三名の参加です。研修生の俳句で、山菜採りの様子を報告します。(添削した作品もあります。)

春山に山菜採りの笑い声 友恵

山菜採りが初めての人もいて、アマドコロは採りやすかったのですが、セリは大変でした。休耕田の泥に、慣れているはずの石原さんが埋まってしまい、数人がかりで引きぬきました。

春の山きつつきが呼ぶドラミング 水木

爽やかな風、小鳥の囀り、きつつきを叩く音を聞きながら山奥へ入っていきます。

ママシグサ草より伸びて威嚇する 豊

蛇のママシはいませんが、ママシグサはあちこちに顔を出していました。恐ろしいトリカブトも確認しました。

コゴミ探るぎゅつと丸くて食べ頃だ 勇渡

山の入口では伸び過ぎのコゴミも、山奥ではまだ小さくて美味しそうです。

春の山菜求め三千里 京

三千里は大げさですが、道なき道、急な崖を登ったり下ったり、三メートル以上歩きまわしたから、けっこうな運動量です。

海峽を見おろす山でウドを掘る 遼太郎

越後の山々を望む峠で一服。ここからの景色は最高で、ここで採れるウドも最良です。

佐渡の山おいしい春をいただきたい 暁

今年も三十種以上の山菜を採り、いろいろ料理し、みんなで美味しくいただきました。

幸生君の掲句は、柿野浦という研修所の地名をいれて、山の恵み、人の恵みに感謝する気持ちを素直に表現しています。

(赤塚五行 鼓童文化財団研修所講師)

トピックス

—MATSURINE— 祭 音

三宅島芸能同志会の皆さんにお招きいただき、「祭音」に小編成で出演しました。同志会の方々と同じステージに立つ熱い思いを中込健太が報告します。

文●中込健太 寄稿●津村和宏さん
写真●西田太郎 構成●後藤美奈子



五月二〇日に三宅島芸能同志会の祭音公演にゲスト出演させて頂きました。

この公演は一昨年に行われた津村明男さんの還暦記念公演の第二弾ということで、待ち望まれた再演でもあり、鼓童も同志会も気合い十分で、また二つ伝説に残る舞台になったと思います。

この公演では、僕たちは同志会の皆さんから沢山のものを得ました。まず彼らの存在感の大きさです。立っているだけで絵になる。どこからか海の風がふいてくるような気がしてくるんです。ステージに大鼓二つ置いて立っているだけなのにそこが砂浜のように見えてくる。素朴で飾るところのない、自然な彼らの姿に本物である凄みを感じます。きつと津村さん達が島で暮らしていたときの記憶や祭りや島の風土とかが彼らの肉体と精神に染み入っていてそれが舞台に立った時、味わいとしてにじみ出ているのだと思います。きつと鼓童が佐渡に拠点を構えて精神と肉体を鍛え生活している意味というのも、そういうものを舞台上に出したいからなんだとあらためて思いました。

津村さんも還暦をすぎてなおものすごいパワーと肉体的な説得力ももちあわせているのですか？ ときくと「おれは、ただ歩いたり走ったりすることができない。島にいるときには山に入ったり海で何かをとつてきたり、それ自体で体が鍛えられていた」と話してくださいました。そういう暮らしをしている人が大鼓を叩くとこんなにも奥行きのある面白い大鼓になるんだな

あと実感しました。

それはまさに自分達が研修所で昔の暮らしを疑似体験したことと重なりました。

舞台表現というのは非日常をお客様に見せ夢の世界をつくりだす面白さがあるけれど同志会の方々は必要以上に見せることがなく自然であることに面白さや説得力がある。きつと鼓童が鬼太鼓座時代から修行し肉体と精神をときすませながら舞台をやつて来た意味もそういうものを目指しているからなんだと津村さん達をみてよくわかりました。そして、果たして自分達が今それを体現できているのだろうかとか己を振り返るきっかけとなりました。津村さん達の太鼓の音、立ち姿、下半身の力強さや大鼓を担いだ体の安定感、すべて刺激となり、これから自分が目指すべき太鼓打ちの姿を示してくださいっている様な気さえしました。

個人的には和宏君が研修所同期でもあり、また一緒に舞台上上がったことがなによりうれしかった。やはり和宏君が叩いていると、こちらもがんばらなきゃという気持ちになるし、お互い還暦公演できるくらいになるまで切磋琢磨し続ける関係でありたいなと思います。

今後、進化し続ける和太鼓表現というものがあるとするなら、そこから太鼓のルーツや根源的な力や魅力を再発見できる様な公演がこれからも自分達の祭りとして続けて行く事ができたら良いなと思います。

同志会のみなさま、ほんとうにありがとうございます。

寄稿 三宅島芸能同志会 津村和宏さん

夢の公演から二週間が経ちました。第二弾となる「祭音」、今回もゲストに鼓童の皆さんをお招きし、お蔭様で盛況のうちに幕を閉じることができました。

中込健太君とは研修所時代の同期でした。卒業してそれぞれの太鼓の道を歩んできましたが、同じ舞台で叩けるとあって、特別な思いで臨んだ公演でした。健太君の大太鼓を舞台袖から見ていましたが、出会ってから色々な思い出が甦り、声を出さずにはいられませんでした。

「合同三宅」の演目では、お互いの太鼓に対する思いがぶつかり合い、身体はきついながらも自然と笑顔がこぼれてきました。

素直に感情を表現し、純粹に演者が楽しみ、お客様もそれを受け入れてくれて、一緒に盛り上がりつづけて初めて舞台が成立する。それが「祭音」なのだと思います。

これからも私たち芸能同志会は、打ち込み続けます。

津村和宏さんをご紹介します。

今回の公演は津村和宏さんが各種の調整をしてくださいました。和宏さんは津村明男さんのご長男で三宅島の出身。大学卒業後、二〇〇三年に鼓童文化財団研修所に入所。一三期生として研修所生活を修了。現在は、親子で都内を中心に太鼓教室や公演活動など積極的に行なっています。今年もECのWS、フリンジにもご参加いただけます。 <http://www.miyaketako.com/ja/>
<https://www.facebook.com/miyaketako>

DATA 祭音 | MATSURINE |

公演：二〇一三年五月二〇日（月）

会場：大阪府堺市堺区立美原文化会館

出演：三宅島芸能同志会（津村明男、津村和宏、津村秀紀、津村春快）

ゲスト出演：鼓童 特別編成（見留知弘、辻勝、吉井盛徳、中込健太、前田剛史、住吉佑太）

共に伝えたい日本の音とリズム

上妻宏光さんインタビュー

津軽三味線の上妻宏光さんと鼓童が、昨年の出会いからさらに前進した舞台を目指し準備が進んでいます。4月に佐渡にいらした上妻宏光さんに城山コンサートで初演する新曲や共に伝えたい日本の音やリズムへの思いについてお話を伺いました。

聞き手・構成・写真●洲崎純子



対等のバランスで深める共演を目指して

—— まずは、昨年の共演で感じられた鼓童への印象をお聞かせください。

鼓童の皆さんとは以前から共演してみたいという思いがありました。長い活動の歴史があつてその中で確立された鼓童のスタイルがあると思います。その確立された集団の音楽表現に、外部の人間が入っていくことは結構大変なことなんです。一対一の共演ならば、もう少し自由度がありますが、鼓童には大編成のコンピネーションもありますし、ベテランから若手まで技量もそれぞれ違うところを集団生

活の中でひとつにまとめて、さらにクオリティの高い形で仕上げていますので、そこへソロで入っていくことへの怖さがありました。昨年、共演の機会をいただいて、まずは鼓童のスタイルに馴染むということから始まりました。

昨年のECでは、日本の、それも佐渡から発信しているこのグループの凄さと、パワーを感じました。あらためて僕も同じ日本人として邦楽器を扱う人間として、邦楽の醍醐味とかっこよさを海外に伝えたいという思いを強くしました。今度は自分が提案した楽曲で鼓童と上妻宏光による音楽を構築して、さらに前

進したいと思いました。
演出の坂東玉三郎さんからも、一回ではお互いにわからないから、さらにお付き合いしてより深いものを作ったかどうかというお話をいただき、二年目もまた参加させていただくことになりました。

—— 今までの城山コンサートは、ゲストとのいわば一期一会の音楽でしたが、アーティスト同士が深く合つて表現されるものを聞くことができるわけですね。

それは時間がかかることですし、両者の思いがないとできないことです。鼓童もこれまでいろんな共演をされています。僕も他のジャンルのアーティストと三味線で共演もしてきましたけど、二期会まで出会って即興でやる気持ちよさや凄さもあります。でもゲストと共演する時、たとえば鼓童の皆さんがゲストに合わせた、鼓童の音楽にゲストが入ってきたり、どちらかに寄り添う形になることが多いと思います。真ん中でいい具合にお互いが活きる音楽を、出会った瞬間に短時間で作るというのはかなり難しい作業だと思います。

でも即興的な音楽ではなくて、西洋音楽のようにすべて譜面に書かれたものであれば、対等に真ん中で作品を作ることができますし、また将来、鼓童でメンバーが入れ変わったとしても同じものが再現できます。演奏者にもいろんな引き出しができますし、また一方で即興演奏する楽しみもできるでしょう。

そういう意味で、今年は昨年よりも、もっと一歩も二歩も踏み込んだ共演というものを目指して、皆さんと頑張っている最中です。



写真:宮川舞子 (EC 2012 祝祭)

日本の音、日本のリズム — 伝統と革新と

— 今回は、上妻さんからのご提案で三楽章からなる曲を初演すると伺いました。どんなイメージの曲なのでしょうか？

僕の音楽のベースとなる津軽民謡、その中にアイヤ節というのがあります。佐渡にはおけさ節がありますよね。そのアイヤ節もおけさ節も、九州のハイヤ節が元になっていまして、北前船が南から北へ航海していった時に伝わったものです。僕の音楽のベースは津軽ですので、では津軽を起点にそのルーツを逆に南下してみようと。北から南へ、その繋がり合う民謡独特のリズムと雰囲気を感じながら、鼓童と僕の作品を創り上げたいと思ひ立ちました。ECは外国人の方も多くいらつしやるのでクラシックの形式も取り入れて音楽構成はクラシック的に、根底に流れる旋律やリズムは、民謡の持つ日本独自のものを考えています。

僕は、このハイヤ節を含めて日本の民謡というのには独特なグルーブを持っていて大好きなんです。外国人にとつてもめずらしいと思ひますし、興味をそそると思います。日本で育った日本人として日本の楽器で表現できる音楽を追求したい。数字では割り切れない間とか感覚、空気感。聞いた人が理屈はわからなくても「ああ、日本ついでいいよなあ」つて感じてもらえるリズムや旋律を、鼓童の皆さんと創り上げて伝えたいという思ひです。

— そういうパートナーとして鼓童に魅力を感じていただけて光栄です。

鼓童は、太鼓という軸をもつて、これだけ長い間海外でもやつてこられて、その間メンバーも変化しながら続いてきたグループです。その鼓童が続いてくる中で、今までの鼓童の表現の伝統を守つていくことと革新していくことは、ひとつのスタイルが確立されると、そこから変化することが難しい時期というのもあると思います。生真面目に日本的でも遊びがなくなつてしまらない。でも遊びすぎるのも、鼓童らしくない。でもいろんなことに挑戦し続けて行くことで、鼓童の伝統的なスタイルも引き継いで長く活動していけるのだと思ひます。

僕は三味線をやっていると伝統と革新の間でいろんなことを考えます。ずつと伝統を深く追求していく人間はたくさんいます。でも僕はそこには負けるつもりはありません。伝統楽器でありつつ、今を感じて現代の三味線音楽を作りたい。彼らを納得させる新しい音楽を作つていきたいと思ひます。

そういう意味で、この共演がお互いのこれからの音楽表現に良い影響となつていくことを願つていますし、鼓童の皆さんにも共感していただけたら、ぜひいろいろな場所で一緒に演奏させていただけたらというのが、僕の夢ですね。

(四月 五日、鼓童村でお話を伺いました。)

※城山コンサートの日程やチケットについては、ホームページをご覧ください。



上妻宏光 (あがつま・ひろみつ)

一九七三年茨城県出身。六歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純邦楽界で高い評価を受け、二〇〇二年「AGATSUMA」にメジャーデビュー。伝統的なジャンルに留まることなく、国内外において数多くのミュージシャンとのセッションを重ね、津軽三味線の伝統と革新を追求し続けている。さらに日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っている。次世代への文化伝承にも力を注いでいる。

KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(5月30日現在)

和太鼓ライブ in はつかいち 藤本吉利、藤本容子ゲスト出演

阿巖太鼓結成 33年記念

6/23 (日) 広島県廿日市市

はつかいち文化ホール「さくらびあ」

大ホール Tel. 0829-20-0111

12:30 開場 13:00 開演

出演：阿巖太鼓「鼓響の会」

特別ゲスト：藤本吉利、藤本容子

友情出演：武由美子(笙)

前 3,000円 当 3,333円 自 未就学のお子さまのご入場はご遠慮ください。

予約購入・問 向井 Tel./Fax. 0829-39-6593 携帯 070-5300-6593

小島千絵子ゲスト出演 チャリティー太鼓コンサート

6/29 (土) 奈良市

学園前ホール (〒 631-0034 奈良市学園南 3-1-5) 13:00 開場 13:30 開演

出演：プラサ梅太鼓、大和獅子太鼓
ゲスト：小島千絵子、ティファニー・タマリ
ブチ (サクラメント太鼓団)

入場無料 自 整理券制 会場で募る寄付金は、西本願寺たすけあい運動募金「東日本大震災義援金」へ送られます。

問：西光寺 Tel. 0742-45-3864

※5月号でお知らせした日程が間違っております。お詫びして訂正いたします。

鼓童 佐渡特別公演2013

— 夏 —

出演：藤本吉利、小島千絵子、山口幹文、宮崎正美、立石雷、小松崎正吾 ほか

7/13 (土) -21 (日)

7/17 (水) 休演 全8回公演

新潟県佐渡市 宿根木公会堂

14:30開場 15:00開演 16:00頃終演

前 大人3,500円 子ども1,500円

当 大人3,800円 子ども1,800円

子どもは4歳～小学生。3歳まで無料。

鼓童の会会員特別価格(前売りのみ)

大人3,000円 小人1,000円 自

問 佐渡太鼓体験交流館(たごう館)

Tel. 0259-86-2320 (9:00～17:00月休)

鼓童文化財団 Tel. 0259-81-4100

(月～金 9:30～17:00)

千絵子流女打ち講座 ～夏～

8/11 (日) 東京都目黒区

太鼓の里 響和館 (目黒区五本木 2丁目 15-9 秀永ビル B1)

①基礎・入門編 11:00～13:30

7,875円 (税込)

②基礎・ステップアップ編 15:00～18:00 9,450円 (税込)

※会員でない方は響和館会員登録が必要です (登録料 525円)

使用バチ：長さ 40cm、太さ 2.2cm 程度が適しています。レンタル有り。

履物：着物足袋、または靴下をご持参ください。定員：各講座 10名

問 響和館 Tel. 03-3714-2774

日本ロレックス presents 「アマテラス」

7/4 (木) -28 (日) 東京都港区

赤坂 ACT シアター

東京メトロ千代田線「赤坂」駅徒歩 1分

開演時間は下のカレンダーをご覧ください
残席わずかの日もございます。

S席 13,000円 A席 9,000円

B席 6,000円 指

未就学児の入場は不可

問) チケットスペース Tel. 03-3234-9999

(月～土、10:00～12:00/13:00～18:00)

9/5 (木) -29 (日) 福岡市

博多座

地下鉄「中洲川端」駅 7番出口直結

開演時間は下のカレンダーをご覧ください

A席 15,000円 特B席 11,000円

B席 8,000円 C席 5,000円 指

未就学児の入場は不可

7/20 (土) チケット発売

(7/20 は電話予約・インターネット発売のみ、7/21 より窓口販売)

問) 博多座電話予約センター

Tel. 092-263-5555

(10:00～18:00 / 日・祝日も受付)

10/5 (土) -27 (日) 京都府

京都四條 南座

阪急電鉄「河原町」駅 (1番出口)

より徒歩 3分、京阪電鉄 祇園四条駅 (6番出口) よりすぐ

開演時間は下のカレンダーをご覧ください

特等席 15,000円 (1階両側敷、2階1列目)、一等席 14,000円 (特等席を除く)

1、2階)、二等席 A 9,000円、二等席 B 7,000円、3等席 5,000円 (二等席以下は全て3階) 指

未就学児の入場は不可

7/15 (月・祝) チケット発売

問) 南座 Tel. 075-561-1155

(10:00～18:00 / 日・祝日も受付)

2013年 7月 東京公演 開演時間

日	月	火	水	木	金	土
				4	5	6
				18:30	14:00	14:00
7	8	9	10	11	12	13
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	休演	16:00
14	15	16	17	18	19	20
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	休演	16:00
21	22	23	24	25	26	27
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	18:30	14:00
28						
14:00						

2013年 9月 福岡公演 開演時間

日	月	火	水	木	金	土	
					5	6	7
					14:00	18:00	14:00
8	9	10	11	12	13	14	
14:00	14:00	14:00	14:00	休演	18:00	14:00	
15	16	17	18	19	20	21	
14:00	14:00	14:00	14:00	休演	18:00	14:00	
22	23	24	25	26	27	28	
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	18:00	14:00	
29							
14:00							

2013年 10月 京都公演 開演時間

日	月	火	水	木	金	土
						5
						14:30
6	7	8	9	10	11	12
14:30	14:30	14:30	14:30	休演	18:00	14:30
13	14	15	16	17	18	19
14:30	14:30	14:30	14:30	休演	18:00	14:30
20	21	22	23	24	25	26
14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	18:00	14:30
27						
14:30						

(5月30日現在)

アース・セレブレーション 2013

8/23(金)-25(日) 佐渡市

城山コンサート 会場:城山公園

8/23 17:15 開場 18:30 開演

『打男 DADAN』

〈映像〉付き特別版

演出:坂東玉三郎 出演:鼓童
1日券 前4,700円 当5,000円

8/24 17:15 開場 18:30 開演

『創世』鼓童+上妻 プロジェクト

演出:吉井盛悟 (鼓童)

出演:鼓童、上妻宏光

1日券 前4,700円 当5,000円

8/25 17:15 開場 18:30 開演

『祝祭』Special ナイ

演出:小田洋介 (鼓童)

出演:鼓童、上妻宏光

1日券 前5,200円 当5,500円

8/23~25 通し券 13,000円

8/23+24 前2日券 8,400円

8/24+25 後2日券 8,900円

※通し券と2日券は前売のみです。

※学生券 (高校生以上~24歳以下の学生) 前3,500円 当3,800円 鼓童チケットサービス (Tel. 0259-86-2330) と佐渡島内一部のプレイガイドでのみ取り扱います。チケットをお渡しする際に年齢が確認できる物のご提示をお願いする事があります。

※中学生以下は無料ですが、小中学生は「子ども招待券」が必要です。鼓童チケットサービスまでお申し込みください。

※城山コンサートは雨天決行です。但し、荒天等主催者が危険と判断した場合は中止することがあります。

ワークショップ

太鼓「音でキャッチボール」 講師:齊藤栄一 (鼓童) / 8/23 10:00~12:00 / あゆす会館 / 5,000円 (バチ代込み) / 中学生以上 / 25名

太鼓「あなたも太鼓打ちに!」 講師:藤本吉利 (鼓童) / 8/23 13:30~15:30 / あゆす会館 / 5,000円 バチ (桶胴太鼓用) 代込み / 中学生以上 / 25名

笛「より良い音を求めて」 講師:山口幹文 (鼓童) / 8/24 10:00~12:00 / 離島センター3F / 4,000円 (笛貸出) / 中学生以上 篠笛の経験 (何か一曲吹ける程度) のある方 / 20名

太鼓・笛・唄・踊り「小木おけさ (佐渡島)」 講師:小木さざなみ会の皆さん (佐渡) / 太鼓・笛・唄 8/24 13:00~15:30、踊り 8/24 14:30~15:30 / 離島センター3F / 太鼓・笛・唄 2,000円 (笛・バチ貸出)、踊り 1,000円 / 小学生以上 / 太鼓は5、6名、笛・唄は各10名程度、踊り約40名

太鼓「三宅太鼓 (三宅島)」 講師:三宅島芸能同志会の皆さん (津村親子) / 8/25 10:00~12:00 / あゆす会館 / 4,000円 (バチ貸出) / 小学4年生以上 / 40名

踊り「浜河内鬼太鼓 (佐渡島)」 講師:河内若手の皆さん / 8/25 13:00~15:30 / 離島センター3F / 3,000円 / 中学生以上 / 25名

太鼓「八丈太鼓 (八丈島)」 講師:浅沼宏雄 (はちじょう太鼓・楽鼓会) / 8/25 13:30~15:30 / あゆす会館 / 4,000円 (バチ貸出・持参バチも使用可能) / 太鼓経験者 (年齢問わず) / 30名

トーク&ライブ、セミナー

千絵子におまかせ! 講師:小島千絵子 (鼓童) / 8/24 10:00~12:00 / あゆす会館 / 大人 3,000円、小中学生 1,500円 / 小学生以上 / 50名

太鼓人生どんどこどん! 講師:藤本吉利 (鼓童) / 8/24 13:30~15:00 / あゆす会館 / 大人 3,000円、小中学生 1,500円 / 小学生以上 / 50名

うたのびっくり箱 講師:藤本容子、宮崎正美 (鼓童) / 8/25 10:00~11:00 / 離島センター3F / 大人子ども2名1組 3,000円 ※追加大人2,500円、子ども500円 / 3~8歳 / 50名

セミナー 宮本常一と鬼太鼓座の時代 講師:門田岳久 (立教大学観光学部助教)、小西公大 (東京外国語大学 特定研究員)、杉本浄 (東海大学文学部専任講師) / 8/25 9:30~12:00 / 小木民俗博物館 / 3,000円 / 中学生以上 / 20名

チケット発売中

チケットの購入、ワークショップの申込には申込書をご利用になるか、アース・セレブレーションのホームページから直接お申し込みください。チケット・ワークショップ申込書はアース・セレブレーション実行委員会へご請求ください。ホームページからダウンロードもできます。ワークショップの

申込一次締切は6月28日(金)です。
アース・セレブレーション ホームページ
<http://www.kodo.or.jp/ec/>
アース・セレブレーション実行委員会 (鼓童文化財団内) Tel. 0259-81-4100

佐渡アウトドア体験

人と自然が共存する島・佐渡を満喫

A. 琴浦シーカヤック体験 8/23~25
10:00~12:00、13:30~15:30 / 4,000円

B. 大佐渡・石名天然杉散策
8/23,25 9:10~12:40 / 4,000円

C. 小木半島ふしぎ探検 8/24
10:00~12:00、13:30~15:30 / 3,000円

D. トキ見学&里山さんぽ
8/23,25 14:15~17:10 / 3,500円
問) NPO法人しまみらい振興機構
Tel. & Fax. 0259-81-4567

Email: sado.taiken@gmail.com
申込方法 6/1 (土) 9:00よりEC公式サイトにある専用フォームにてオンラインもしくはFaxにて受付。
参加は小学校5年生以上 (小学生は保護者同伴)

鼓童塾 齊藤栄一の太鼓篇

10/10(木)-14(月・祝)

4泊5日 佐渡市柿野浦

鼓童文化財団研修所
指導:齊藤栄一 (鼓童) 進行は日本語。
費用:55,000円 (宿泊費・バチ代込み)
鼓童の会会員は50,000円
対象:15歳以上の男女 (2名以上のグループ参加は不可)
募集人員:20名

応募方法:ハガキにて (メールは不可)、「鼓童塾 齊藤栄一の太鼓篇希望」と明記し、氏名・フリガナ・住所・年齢・性別・連絡用メールアドレス又は電話番号・職業・音楽経験・鼓童の会の方は会員番号・何でこの塾をお知りになったかをお書きの上、ご応募ください。応募者多数の場合、選考させていただきます。7月20日頃に参加の可否をご連絡いたします。

応募締切:7/1 (月) 当日消印有効
送付先:〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童文化財団 担当:千田(ちだ) Tel. 0259-81-4100

アース・セレブレーション2013

プレイベント

○ たたこ館太鼓体験ウィーク

「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

しんちゃんせんせいこと、鼓童スタッフの十河伸と太鼓を叩く初心者向けプログラムです。お子様から大人まで、太鼓の振動を体いっばい楽しみましょう。

○ 佐渡薪能公演

椎崎・諏訪神社(佐渡市原黒・両津地区)と

春日神社(佐渡市相川下戸村)で行われます。

出演：津村禮次郎(能)、小笠原弘晃(狂言)、森山開次(ダンス)ほか

第一夜の演目：狂言「魚説法(うおせつぼう)」／能「殺生石せつしょうせき」／創作ダンス「HAGOROMO」

第二夜の演目：狂言「舟ふな(ふねふな)」／能「羽衣(はごろも)」／創作ダンス「HAGOROMO」

城山コンサート鑑賞付きツアー、宿泊プラン

旅行会社が佐渡汽船フェリー、城山コンサートチケットなどを含むお得な旅のプランを企画しています。ご希望に合うコースが見つかるかもしれません。詳細は各旅行会社へお問い合わせください。

ECグッズ先行発売中

ECグッズの先行発売をオンラインストア、メールオーダーのみで行っています。



Tシャツ



ドルマンスリーブTシャツ

トートバッグ

ECプレイベント

たたこ館太鼓体験ウィーク「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

日時：8月13日(火)～22日(木) 10:00/13:30/15:00

19日(月)は休館、22日(木)は10:00のみ

場所：佐渡太鼓体験交流館(たたこ館)

料金：1,500円、小学生800円 定員：各回25名

問：佐渡太鼓体験交流館 Tel. 0259-86-2320

Email: info@sadotaiken.jp

佐渡薪能公演

8月21日(水) 第一夜 椎崎・諏訪神社能舞台公演

8月22日(木) 第二夜 春日神社能舞台公演

両日共 時間：18:30開場、19:00開演、20:30終演予定

料金(全席自由)：前売 大人3,000円、小中高生1,500円

当日 大人3,300円、小中高生1,700円

2会場通し券(前売のみ) 大人5,000円、小中高生2,500円

問：佐渡観光協会 Tel. 0259-27-5000

Email: info@visitsado.com

城山コンサート鑑賞付きツアー、宿泊プラン

8/24 (土) 富山県内発1泊2日ツアー

ツアータイトル：世界でも認められた 太鼓芸能集団「鼓童」

料金：33,800円 内容：富山県内からバス～24日城山コンサート鑑賞～相川泊～25日佐渡観光

問：トリーズツアー予約センター Tel. 076-429-8585

8/25 (日) 直江津発日帰りツアー

ツアータイトル：アース・セレブレーション 鼓童日帰りバック

料金：(1)フリーコース8,400円(大人)フェリー往復2等+公演チケット

小木港に9:40または16:20に到着し自由行動

(2)観光コース11,980円(大人)フェリー往復2等+観光バス+昼食+公演チケット

小木港に9:40に到着し佐渡観光後城山コンサート鑑賞

問：(株)直江津マリンラベル Tel. 025-543-7895

8/25 (日) 石川県内発1泊2日ツアー

ツアータイトル：燃える佐渡島～アース・セレブレーション【鼓童】2013～

料金：27,800円(大人2名様1室)

内容：石川県内からバス～25日城山コンサート鑑賞～相川泊～26日

佐渡観光

問：北日本観光バス Tel. 076-266-2533

ECグッズ先行発売中

Tシャツ 各3,800円

シャツ色：インディゴ、バーガンディ プリント：白(抜染プリント)

チュニックタンクトップ 3,800円 シャツ色：黒 プリント：白

ドルマンスリーブTシャツ 3,800円

シャツ色：ヘザーレッド プリント色：黒

トートバッグ 各1,500円 バッグ色：生成り、黒

手ぬぐい 1,000円

ふわりタオル 2,800円 ターコイズブルー、生成り

詳しくは <http://www.kodo.or.jp/store/まで>

鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで

Tel. 0259-86-3630 (販売部)

ソロ活動

山口幹文 一管風月コンサート

山口幹文の「一管風月」コンサートを、6月に佐渡・佐和田と群馬・前橋で開催いたします。佐渡では、チェンバロ奏者佐藤世子さんとの共演で、久しぶりの公演となる前橋では、山口幹文の笛のみでお送りします。気軽にお越しただけの演奏会として企画いたしました。是非お誘い合わせの上お出かけください。

また、9月15日(日)には太鼓の里響和館(東京目黒)で山口幹文の篠笛講座があります。7月10日(水)より申込受付。問：響和館 Tel. 03-3714-2774

梵天&鼓童 小島千絵子の世界 舞舞台「道成寺」

様々なアーティストと共演し、ジャンルを超えたセッションに挑戦する太鼓プロ集団「梵天」がライブウィークを企画しています。その第一弾は小島千絵子の舞舞台「道成寺」。梵天・仲林光子(薩摩琵琶)との共演で安珍と清姫の物語を太鼓と舞で表現します。

ソロ活動

山口幹文 一管風月コンサート

【佐渡】日時：6月15日(土) 13:30開場 14:00開演
会場：Honda Cars佐渡 佐和田店 コミュニティスタジオ
(新潟県佐渡市東大通821-1)

料金：2,000円
申込・問：モビリティワールド Tel. 0259-51-1127

【前橋】日時：6月21日(金) 18:30開場 19:00開演
会場：でくの房(群馬県前橋市朝日町4-1-18)

料金：2,500円(当日300円増)
申込・問：でくの房・野村たかあき Tel. 0272-43-7061

梵天&鼓童 小島千絵子の世界 舞舞台「道成寺」

日時：8月20日(火)、21日(水) 18:30開場 19:00開演
会場：川崎市アートセンター アルテリオ小劇場
小田急線「新百合ヶ丘」駅北口より徒歩3分
料金：4,000円(税込)全席自由 チケット発売中
問：みらいスタジオ Tel. 044-328-9908 (月～金 11:00～18:00)

鼓童佐渡特別公演 2013 夏

お得な交通情報

佐渡汽船、路線バスを利用して来島される方にとってもお得なバスなどがありません(左の枠内を参照)。

鼓童文化財団では鼓童佐渡特別公演「夏」を気軽に楽しんでいただくためのツアー・宿泊プランを用意しました。詳しくは同封のチラシをご覧ください。また、旅行会社企画のツアー、宿泊プラン(下の枠内を参照)もあります。交通手段や宿の手配に煩わされず鼓童公演と佐渡の旅をお楽しみください。

鼓童チケットサービスよりお知らせ

「鼓童佐渡特別公演2013 夏」公演で、チケットレスサービスを導入しました。イープラスのチケットレス・サービス「スマートイープラス」でご予約いただけます。

スマホ、携帯のどちらでもご利用いただけます。Facebook、ツイッター、mixiなどのアカウントをお持ちの方は、そちらでもログインできますので、ぜひご覧になってみてください。

<https://sm.eplus.jp/e/378>

お得な交通情報

夏公演の全日程で適用「トキめき・佐渡にいがたバス」
(新潟駅から新潟～両津フェリーと島内路線バスを利用される方にお得です)

価格：大人6,000円、子ども3,000円 料金に含まれるもの：新潟駅～新潟港 路線バス1往復/新潟港～両津港フェリー 2等1往復/島内路線バスフリー乗車券(3日間乗り放題)/島内レンタサイクル(電動アシスト)基本料金3日分/新潟市観光循環バス1日乗り放題/フリーエリア(新潟市内近郊)JR普通列車3日間乗り放題
販売場所：フリーエリア内JR東日本の駅(新潟駅、長岡駅、村上駅、寺泊駅など)の指定席券売機、みどりの窓口、びゅうプラザおよび主な旅行会社

7/15(月・祝)限定「佐渡汽船創立100周年記念・海の日限定 小学生運賃無料キャンペーン」

大人(保護者)1名につき小学生2名まで無料
問：佐渡汽船 新潟総合案内所 Tel. 025-245-1234

旅行会社企画のツアー・宿泊プラン

詳細は各旅行会社にお問い合わせください。

東京駅発2泊3日「佐渡島大自然周遊3日間 鼓童特別公演鑑賞プラン」

コース番号M7566-5 公演鑑賞可能日：7/14(日)、16(火)、18(木)、20(土)
料金：36,800円～42,800円(大人1人/2～5名様一室)
問：JTB旅物語販売センター Tel. 03-6902-5555

東京駅発2泊3日「島内最高ランクの宿・海側客室に2連泊～外海府絶景海岸線クルーズ～優雅なる佐渡3日間」コース番号27785-473 公演鑑賞可能日：7/16(火)、20(土)

料金：68,000円～73,000円(大人1人/2～5名様一室)
問：クラブツーリズム株式会社 国内旅行センター Tel. 03-5998-2000

十日町発長岡経由1泊2日「鼓童佐渡宿根本特別公演」公演鑑賞可能日：7/13(土)

料金：27,800円～29,800円(大人1人/2～5名様一室)
お問い合わせ：越後交通ゴールドツアー Tel. 0120-865-615

今月の付録

鼓童の会チケット先行予約について
「アマテラス」福岡・博多座、京都・南座公演の先行予約は終了いたしました。6月16日を過ぎても請求書またはクレジット決済案内が届かない方は、鼓童チケットサービスまでお問い合わせください。Tel. 0259-86-2330

◎「佐渡特別公演2013 夏」

ツアー・宿泊プランチラシ

◎「鼓童から版(佐渡島内)」

鼓童村の食卓はお休みします。

◆鼓童サイトリニューアル◆

このたび鼓童サイトがリニューアルオープン。新しくなった鼓童サイト、是非ご覧ください。



スマートフォンからも見やすくなりました。

Twitterも随時更新中。

テレビ放送やチケット発売、完売情報等、急遽決まったお知らせなどを中心にお届けしています。鼓童サイト、Facebookからもリンクしています。



Facebook

ソーシャル・ネットワーキング・サービスのFacebookにも鼓童グループのページがあります。鼓童(日英)、EC(日英)、鼓童文化財団、佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)、佐渡特別公演、Kodo eNews(英語)の各ページがあり、それぞれの活動をタイムリーにお知らせしています。こちらもチェックしてみてください。

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼先日の鼓童村の昼食メニューは「タコ飯」。美味しかった。味付けは何? どうやって作るの? と食当さんに興味津々でリサーチするも、実際に料理するのは不安。いつも無難な「タコの唐揚げ」になつてしまふ。色々挑戦してみよう。(み)

▼久しぶりの現場合流は新発田公演。スタッフの皆様さん自らが「全国的に絶滅危惧種」という実行委員会形式。手作りだから、地元の人間だからできること。価値観の多様化する今だから、実行委員会というあり方を考える機会でした。公演歴十三回という長いおつきあい。実行委員会の変らぬ仲間に見えるのも嬉しい限りです。(美)

▼先日、研修所に初めてヴォイス・トレーニングの講師として、野上結美先生をお招きしました。「楽器なら、良いものがお金で手に入るけれど、歌い手は自分の身体が楽器、肉体を磨き続けなければならぬのです!」私達の意識の甘さを痛感しました。でも、これは歌うことに留まらず、その磨いた身体で楽器と一体となって奏でる太鼓は、どんなものになるのか…この先、楽しみです。(倫)

▼六月の佐渡は「薪能月間」。毎週のように島内各地で演能があります。研修生も、三月に発表した「船弁慶」を、今度は自分達だけで謡います。私は彼らとは別の曲で小鼓を担当。意外な人が共演者です。実はまだ二回も「緒に稽古をやれないのですが…。六月十五日、羽茂草刈神社にて。泰二君、どうぞお手柔かに。(康)

▼最近のデジタルメディアによる情報発信(上記囲み記事です)にもっともうろたえ寡黙になっている私。こんなについていけなくなるとは、哑然呆然。「何をそんなに「いいね」することがあるのか」と思われるのは、広報にあるまじき態度か。それでも鼓童サイトは今リニューアルの山場!(す)